



合衆國
紙幣頭年報
全二冊
上



348



414
A1398
/



凡例

大正十一年四月
大隈侯爵邸守贈

ス臣ト称ス其他立君政法ノ國ニ於テハ悉ク以
然ルヲ得ヘシ但シ共和國ニ於テハ素ト君臣ノ
別ナシ紙幣頭ヲ以テ告知ヲ致スハ是ヲ同官ノ
人ニ示スナリ同國ノ人ニ示スナリ故ニ書中僕
ト称ス僕ハ字議ニ於テ臣ニ下タルト雖モ負襲
ノ俗是ヲ同輩ニ用ユ是レ生ノ此語ヲ用ユル所
以ナリ

各中通幣ト云フハ紙幣及ヒ銀行紙幣ヲ云フナ

大藏省

リ通用幣トハ重ニ銀行紙幣ノミヲ云フナリ然
レ氏通幣ト云フテ銀行紙幣ヲ意味スルナリ
是レ元文ニ因ルモノナリ請フ看官前後ノ語路
ニ因テ諒解シ給ワシナリ
御侯相成仕杯ノ語ヲ用ヒ度キ場合モ出テ来ス
レ氏論辨ノ章ニ至テハ亦々不都合ナレバ全ク
之ヲ廢セリ

月日名称ハ文章ノ後ニ記スヘキモノナレトモ
今元文ニ習ヒ文章ノ前ニ記セリ請看官ノ章ニ
答メ給ハザルナリ

元文實ニ六七補シテ生等ノ能ク譯スベキモノ
ニ非ス其中ニ諸先生ニ質問シ遂ニ解シ得ザル
者ハ則テ解シ難シト記ス異日諒然ノ日ヲ待テ
段メシナリ欲スルナリ夫子云ヘルアリ知ラサ
ルヲ知ラサルトセヨ是レ知ルナリト生今解シ
難キヲ解シ難シト為ス是レ亦々解シタルナリ

合衆國紙幣頭ノ報知

千八百七十三年二月二十八日

華盛頓府大藏省紙幣頭

ジヨンセイ、ノツク謹テ報ス

邦國紙幣條例第六十一号ノ布令ヲ奉シ謹テ次
ノ報知ヲ致シテ議事院ノ参覽ヲ請ハント欲ス
蓋シ我國始メテ國立銀行ヲ當造セラレシハ實
ニ千八百六十三年第六月二十日ノ事ニシテ其
前年第二月二十五日ノ布令ニ因ル處ナリ此銀
行ハスラテルモヤ府ニ開店シ同年十二月二十

一日ニ至リテ始メテ銀行紙幣ヲ發行セリ尔後
二千百二十九座ノ銀行各所ニ結社之アルト雖
其三十三座ハ既ニ破産ノ衰運ニ属シ其百十七
座ハ株主共相寄テ啓言セル見込モ之アリ條
例四十二号ノ布達ヲ以テ私ニ閉社シ財本ヲ分
報スルニ及ベリ昨年^{千八百七十二}年ノ^{千八百七十三}ノ如キハ六
十八座ノ銀行其社ヲ結シカドモ其十一座ハ則
チ破産シ其二十一座ハ私ニ解リ千八百七十三
年十二月ノ今ニ至リテ猶ホ存スル者ハ實ニ千
九百八十座ノミ

我合衆國ノ議院ニ於テ始メテ銀行ノ事務ヲ
取調シ^{千八百七十九}年六月二十一日ノ下
ナリ是時三人ノ幹事々ノ便宜ヲ正サシカ為
メ銀行ノ管理役及ヒ取締役ト共ニ其事務ヲ
差配セリ其ノ幹事同年六月二十二日ニ至リ
テ左ノ如キ報及ヲ啓ス其文ニ曰ク
近頃ヤシシルカニヤノ都人愛國ノ情深キヨ
リ自テ筋骨ヲ勞シ心ニ名望ヲ期シテ相集リ
議事院ニ至リテ好ニスベキ意ヲ請ヒ出タリ
則チ三百萬ドルノ軍糧及ヒ三百ホクスヘト

一ホリスヘットハ我一ノ糖水酒ヲ兵用ニ供セ
石三斗一升ニ合餘リノ糖水酒ヲ兵用ニ供セ
ニテヲ申シ出デシテナリ就テハ其ノ諸品ヲ
都合ヨリ請取リ若クハ持テ運バン為ニ宜シ
ク銀行ヲ造営スベシ且ツ此ノ人共ハ皆ナ邦
國ノ欠乏ヲ裨益セントノ赤心ヨリ斯ク務メ
タリシテナレハ他日國事全ク治ル後ハ必ス
是ニ報ヒ之ヲ贖ヒ其實情ニ答フベシ是レ正
徑ノ事ニシテ亦タ政府ノ義務ナリ故ニ左ノ
如ク約シ置クナリ
議事院ニ於テハ上納者ノ衰情ヲ好ミレ一ト

先ツ上納品ヲ受納スベキナ
合衆國ノ信ヲ以テ銀行ニ附托シ記名ノ者ノ
為ニ必ス拂ヒ戻スベキナラシメテ證スベキ事
○此時造五セシ銀行ハ「バン」クラフノルスマ
リカ」ノ結社條例ヲ以テ布令セラレタリ此銀
行千八百六十四年十二月八日ニ至リテ州縣
銀行ヨリ國立銀行ト改マリタリ
第一表ハ九月十二日報知ノ正期タルヲ以テ各
地ノ銀行ヨリ呈スル所ノ負財資財ヲ示ス者ナ
リ而シテ「ニウヨルク」府他ノ交換都府交換所設
置ノ都下

以下同及心其他ノ銀行ヨリノ報知ヲ附記ス

表中交換都府ト称スルモノハ則チ

ボストン アルクニー トラテルスヤ

ロンドン バルチモール ワシントン

ニウヨーク ロイスウイル シン

シン子ーチス クリーウランド チカゴ

デトロイト ミルウーキー セントロ

イス及ヒサンフランシスコ是ナリ

通幣分布

通幣分布トハ新ニ通幣ヲ作り
セル者ニ區別シ
テ正スナリ

千八百六十三年二月二十五日並ニ千八百六十
四年六月三日ノ布令ノ趣キハ則チ流通幣ノ三
億ドルヲ發行スヘキ時権ヲ以テ國立銀行ニ許
サル、トニテ其中一億五千萬ドルハ其地ノ財
本ト國產商法ノ盛衰トニ從ヒテ配分スベシト
ノナリ
此ノ布令ヲ以テ公許セラレシ通幣ノ總高ハ其
後四年ヲ経テ始メテ諸國立銀行ニ於テ發行
尽セリ

第二表千八百七一年ノ統計表人口貧富調ニ基

キ三億五千四百萬ドルヲ以テ各地ニ分配セル
割合高及ヒ発行高及ヒ過不及ヲ示ス

第三表ハ銀行ノ結社セル者閉社セル者及ヒ當
時營業セル者並ニ資本金抵当トナル公債証
券發行セシ流通幣引換エシ流通幣及ビ當時發行
セル流通幣ノ數ヲ示ス

千八百七十年七月十二日ノ布令ノ趣キニ更ニ
五千四百萬ドルノ發行ヲ許ルサル其手形ハ千
八百六十五年三月三日兼テ布令アリシ分布割
合高ダケヲ所持セサル州縣地方ニ社ヲ結ヘル

銀行及ヒ此ノ後結社スベキ銀行ニ割渡スヘシ
且ツ其時政府ニ納メ置クベキ公債証券ハ貨幣
ヲ以テ利ヲ拂フベキ公債証券ノ中テ何レニテ
モ差シ構ヒナシ尤モ右配分ハ千八百七十年ノ
統計表ニ基キ成ベキ丈ケ速ニ割渡シ之ト同數
ノ三朱受取証文ヲ取り戻スベシトハ銀行ヨリ
公債証券ヲ政府ニ收ムルトキ政府ニ於テ未
手形ヲ全ク作り終ラザルテ其時政府ニテ
公債証券ノ引換ニ受取り証文ヲ渡スベシ之
ニ三分ノ利アルモノヲ三分証文ト云フナリ
三朱証文ハ今年ニ至ツテ始テ全ク取り戻ス
ヲ得タリ千八百七十年七月一日ノ比口世ニ

行セシ三朱証文ノ高ハ四千五百五十四萬五千
トナリ

茲ニ増加セル發行ノ總高ハ

千八百七十一年十一月ノ年算ニ

二千四百七十七萬三千二百六十ドル

千八百七十二一年十一月ノ年算ニ

一千六百二十二萬零二百一十ドル

千八百七十三年十一月ノ年算ニ

七百三十五萬七千四百七十九ドル

当今更ニ啓スベキ高

五百六十四萬九千零五十一ドル

合計 五千四百萬ドル

千八百七十年七月十二日ノ布令ニ更ニ左ノ趣
キヲ記ス其文ニ曰

其ノ五千四百萬ドルヲ割り渡スト茲ハ割合高
ヲ所持セザル銀行ニ於テハ猶モ加増ヲ企望イ
タスヘキハ顯然推シ量ラルヘキヲナレハ紙幣
頭タル者宜シク餘分ヲ所持セル銀行ニ就テ左
ノ趣キヲ所望イタスベシ則チ流通幣ノ多ク流
通セル州縣ニ於テ百萬トル以上ヲ所持セル銀

行ニ就テハ其餘分ヲ所望スベシ又々流通幣ノ
最モ多ク流通セル州縣ニ於テハ三十萬ドル以
上ヲ所持セル銀行ニ就テ其餘分ヲ所望スベシ
尤モ之ヲ為スニ先ツ大ナル方ヨリ取り掛り是
ニテ事済ムノ後チ小ナル者ニ取り掛り結句ニ
千五百萬ドルノ高ヲ收ムベシ此高ヲ收メタラ
ニニハ則テ之ヲ以テ流通少キ州縣地方ニ割り
渡スベシ

譯者曰ク生第ニ表ヲ見ニ不及ト記セル下
行ニ八千萬ドル餘ノ總高アリ此レ割合高

ヲ所持セザル州縣ノ不足金ナリ今茲ニ五
千四百萬ドルヲ發行セシムト雖此實ニ不
足ヲ補フ能ハズ而シテ尚ホ不足スルモ
二千六百萬ドル餘アリ故ニ過分ノ下行八
千萬餘ノ内ヨリ二千五百萬ドルヲ引キ去
リ是ヲ以テ不足ヲ満ストキハ一方ニハ略
々不足ナキヲ得ルナリ是レ二千五百萬
ドルノ引上ゲヲ致ス所以ナリ

此ノ布令ノ儀ニ付キ僕紙幣頭ノ職ヲ奉ルニ
於テハ不足ノ州縣ヨリ額ニ出タル通幣給補ノ

高ト同シ高ヲ過分ノ州縣ニ付テ此後チ三月間
ニ所望イタスベシ右所望イタス分量ハ

ニウヨルク府銀行四座

五百零一萬八千ドル

ボストン府銀行三十七座

一千三百三十二萬ドル

マスサチセツ州二十一座

二百六十五萬九千ドル

プロウデンス府十七座

二百八十一萬八千ドル

コンチネンタル州十五座

一百十八萬五千ドル

此ノ布令ノ旨趣ハニウヨルクノ銀行ヲ一百万
ドルニ減シマスサチセツ及ヒロイドアイラン
ドノ銀行ヲ三十萬ドルニ減セントノナリ然
レトモ此銀行ヨリ一年ノ内此ノ銀行紙幣ヲ収
メサレハ兼テ彼ノ會社ヨリ歳メ置シ公債証各
ヲ二十日限ヲ以テ投賣シ是ニテ取り戻スベキ
銀行紙幣ト引換ユベシ蓋シ是等ノ銀行ヨリ登
行セル通幣ハ周ク國中ニ流通シテ一時ニ是ヲ

取戻サントスルキハ格差ノ冗費ノ起ルヲ
ベシ故ニ大蔵省ニ來ルキ引換ユルヲハ銀行
於テハ達テ望ムトナリ然レモ引換ノ為ニ大蔵
省ニ來ル處ノ通幣ハ極テ少量ニシテ此ヲ南西
ノ州ニ分ツニ更ニ益チキ程ノトナリ況ンヤ新
ニ社ヲ結バント欲スル者之チキハ何ヲ以テ
融通セン故ニ僕謹テ勸ム千八百七年七月十二
日ノ布令第六号ヲ改メ更ニ二千五百万圓ノ券
行ヲ許サレントヲ
僕亦タ勸ム今ヨリ以後國立銀行ヲ造スルニ

銀行紙幣ヲ用ユルトナク且ツ資本金ノ三分一
ヲ政府へ收ムルトナク唯々公債証書ノ一萬ト
ルヲ收メシムベシ且ツ既ニ通幣ヲ用ヒタル
行ニハ兼テ政府ニ收メ置キシ一萬トル以上ノ
公債証書ヲ返シ遣スヘシ銀行紙幣ヲ用ヒサラ
ント欲スルモノハ悉ク公債証書ニテ大蔵省ニ
收メ置クニ及ハス其一部ハ紙幣ヲ以テ之ニ易
ユルモ亦タ可ナリ

第四表ハ國立銀行結社以前ニ州縣ノ法令ヲ以
テ發行セル流通高千八百六十二年各州銀行紙

幣ノ割合ヒ人口貧富ニ例シテ今日發行ハ
總高並ニ千八百六十二年及ヒ今日議院ニ於テ
公議發行ノ分頭ヲ示スモノナリ

フリートバンキング 金銀通幣ヲ自由ニ
取り扱フナリ

ニウヨルク州ノ自由ナラザル條例ニ千八百十
八年四月二十一日ノ布令ナリ元テ會社或ハ中
間連中ノ別ナク次ノ八月一日ヨリ以後附此銀
行ニ於テ証紙ヲ割引キスルナリ又又合
シテ社ヲ結ベル銀行ニ於テ官ノ特許ヲ得シ者
ノ商業事務ニ關シテ私ニ之ヲ管ミ此ヲ謂

ルルナカレ但シ國法ヲ以テ許可ヲ得シ者ハ
此例ニ非ス

此法實ニ邦國ノ銀行商業ヲ以テ一ニ會社
ニ握ラシムルニ均シ而シテ其實效ニ至リテハ
殊ニ長息スベキ者アリ始メ我合衆國ノ州縣皆
テ特別ノ許可ヲ以テ蓄積銀行ヲ建テシメ派賴
スヘキ會社ヲ結ハシム千八百四十四年前ニ當
テ英國ノバンクラフイングランド及ヒ他を以
會社ヲ建テシメルヤ許スニ通幣ヲ發行
權ヲ以テス此ハ皆テ賣買ヲ專ラニヤ

ルナリ救國々五銀行ヲエツルニ及ブ亦如此キ
專許ノ失アルトナシ國五銀行ヲ五アル
人ヲ是非スルトナシ議事院ノ許セル通幣ノ事
リ高尚ホ存スル内ハ唯々一片ノ融通貧富ヲ証
スル名簿ヲ致ストキハ即チ評議ノ上公許ヲ得
ヘシ方今當察ニ願ヒ出テ未タ評議イタサハル
者積テ累ヲ為ス其通幣ノ高ハ殆ンド千カドル
ニ至レリ○始メ社ヲ結ビシ銀行ハ利分ノ多
ク疑フベカラス此比口餘分ノ利アル中ハ商法
衰微ノ時貸主ノ損失ヲ防カンガ為メニ餘分本

金トシテ積ミ置キ其高一億二千萬トシテ
ヒントカヤ昨年ノ如キニ至リテ銀行ノ利分ハ
製造者鉄道會社及ヒ他ノ會社ノ利分ニ比シ
ハ減スル所アリ今若シ合衆國中繁昌セル都會
ニハ一々國五銀行ヲ五テ他ノ銀行ヨリモ堅固
ニ人民ノ金ヲ預カル中ハ少ナクトモ賣買ヲ專
ラニスル失ナキト能ハス然レモ是レ組立方ノ
惡シキニ非ス實ニ通幣ノ固有ノ害ヨリ起
リナリ然レモ今日ノ國五銀行組立方ハ以前ノ
法ヨリモ其專許ナル所ナシト云テ可ナク

然レ此此法ハ專許ノ失ナキ能ハス其故ハ別
銀行ノ大ナル利分ハ法ニ於テ定限ナル銀行紙
幣ヲ通用スルニ在リト思フヨリ此權ヲ以テ唯
々國立銀行ニ委子レト企シテナリ然レ此其實
效ニ至リテハ大ニ然ラサルモノアルカ其千八
百七十年三月十二日ノ布令ノ趣キニ國立銀行
紙幣ノ更ニ五千四百萬ドルノ發行ヲ許シル而
シニ未タ此全高ヲ發行シ尽サスハ抑々害
付タル州縣ニ於テ之ヲ賣捌クニ利分ノ多カラ
ザル所以ナニテ
其委細ハ後ニ至
リテ詳ナルベシ
然レ此此通幣

發行ニ付テ大利分アリト誤解ニル説ヲ持スル
ヨリフリートバンキングノ象望起リシテナリ前
案ニモ辯議イタセシ如クニウオルクノ川去
由ナラス五法官ノ特許ヲ得サレハ銀行商業
取扱ヲ當ムトテ許サス此法行ハレテヨリ殆
ト三十年ニシテ即テ廢止ノ令アリ然レ此其間
嚴シキ抗論ヲ經タルヲナシ此法廢サレテ後一
年ニウオルク州ノ銀行商業大ニ起ル其銀行ハ
則チ附托品ヲ預リ且ツ定メアル割ニ以テ引
換スル法ヲ存セリサレハフリートバンキング

大蔵省

云へルハ賣買專許ノ卑法ヲ脱シ自由ナル商世
ニ移リタリトノ議カ今日ノ世ニ銀行程ノ自由
ヲ得タル者ナケレバ其字議ヲ明瞭ニ辨セシト
セバ今日ニ適セサル者アリ方今全國ノ人皆ナ
證文ヲ記スベク銀行手形及ヒ商人手形ヲ取り
扱ヒ得ヘク附托品ヲ預リ得ヘク我家産ノ抵當
トシテ貨幣ヲ借リ得ヘク要シテ之ヲ言フニ允
テ銀行商業ニ関セル事務ヲ當ニ得ルコトアリ
蓋シフリバンキングトハ大藏省中ニ通幣啓
行請合ノ為ニ收メ置ケル公積証書ノ既高ニ

從ヒ銀行ヨリ其同高女ノ銀行紙幣ヲ發行シ得
ルコトノ意味アリト衆人皆ナ辨解スルアルカ如
クト魚トモ借テ國立銀行ヲシテ此同高ニ於
テ發行セシムルヲ好マヌ人ノミ世間ニ多キカ
フリバンキングノ一層面白キ注解ハ國ノ商
業盛ナル地ニ於テ容易ニ引キ換ノ出来ル紙幣
ヲ發行スルコトナリ此通幣ヲ分テ三種トナス萬
一種ハ銀行及ヒ其中間ニ於テ平價ヲ以テ引換
ヘスベク而シテ抵當ナキ通幣政府預ケ置萬
ニ發行所ニテ相ヒ引換ルトキハ平價ヲ以テ

大藏省

ト虽氏市場交易堪等ニ於テハ割引ヲ以引
ベリ抵当アル通幣第三發行所及ニ其中国ニ於
テ割引スルヲナリ貨幣ト引換ベキ通幣兵革以
前ニ行ハレシニウイニングラドノ通幣ハ第一ノ
通幣ノ好キ見本ト云フヘシ之ヲサツルルク氏
ノ法ト称ス其故ハボストン府サツルルグ銀行
ニ於テニウイニングラント州ノ銀行紙幣ヲ同
平價ニテ通用セシメント尽カシケルハナリ然
レトモ夫レ之ヲ組ミ立ツルニニウイニングラ
ド州ノ立法官ニ於テ特別公許ヲ得サレハ結社

スヘカラザル律ニテ自由ナル法体ニホ
リ五ツ其通幣ニハ抵当トシテ為ニ政府ニ附托
スルモノナシ故ニ若シ銀行閉社スルハ其
ヲ受クルモノ獨リ此組合即チ株主ナリノミニ非ニ銀
行紙幣ヲ所持スル者モ亦タ其災ヲ受ク故ニセ
ズルク銀行ニ於テ勉強シテ平價ヲ以テ周ノ通
用セシメント企テタレトモ之ヲニウヨルク府
ニ持テ行ケハ一分ノ八分一ノ割引ヲ出サ
ハ流用シカタシ素ヨリ市場貿易場等ニ於
便利ニ流通スル者ニ非ニ實ニ平價ヲ以テ引

カタキ者ナリ

ニウヨルク州フリーバンキングノ法方ハ以テ

第二種ヲ証スベシ而シテ最モ都合ヨリ流通セ

シ者ナリ故ニ今日フリーバンキングヲ称スル

者必ズニウヨルク法方ニ習ヒ發行交換スル

ヲ言フベシ

年八百三十八年四月十八日彼ノ州ニ於テ右述

テリシ趣キ誠ニ便法ナリト衆人執テ議論ノ

ト為ス是ニハ先ツ兵革起リシ時及ヒ今日ノ事

情ニ付通商友ニ公債証書ノ適否如何ニ熟察ス

ルヲ要ス

ニウヨルク州ノ始メ通幣ヲ發行セシムルヤ他

州ノ公債証書ヲ抵当トシテ之ヲ會社ヨリ彼

州ノ紙幣頭ニ収メ置ケリ尔後度カノ變革

テ内乱ノ始メニ至リテ遂ニ合衆國ノ公債証書

及ヒニウヨルク州ノ公債証書ヲ抵当トスルニ

至レリ合衆國ニ於テ州縣皆テ公債証書ヲ發行

フナリ合衆國ノ公債証書トハ即ケ政府ノ公債証

萬六千五百五十二ドルナリ合衆國ノ公債ハ一千

四十三萬四千二百二十一度ルナリ此公債証書

通用極テ便ニシテ其通用スル平價ヨリモ高シ
千八百六十年ニ至リテニウヨル州ノ公債三
千四百十四萬二百三十八トル合衆國ノ公債四
千四百七十九萬四千九十二ドルナリ通幣發行
ヲ許可スル法令州縣一ナラスニウヨルクノ都
會ニ於テハ銀行紙幣ヲ割引スルニ其割合一分
ノ八分一ヨリ一分ニ變ス又々其地所ノモニ限
ル銀行紙幣ニ於テハ五分ヨリ一分ニ變ス唯
々ニウヨルク及ヒニウイニングラントノ銀行紙
幣ノミ今日ノ國立銀行紙幣ノ如ク全合衆國ニ

通行ニタレトナリ
今ヤ全合衆國ノ公債ノ資本ト成レルモノ千八
百三十八年ノ比口合衆國及ヒニウヨルク州ノ
公債ノ八十倍ニシテ千八百六十年ノ公債ノ
十倍ナリ此比口國ノ通幣ト稱スルモノハ唯々
貨幣ノミ現今ニ至リテハ國立銀行紙幣及ヒ紙
幣ノ流通高ニウヨルク州ヲ以テ計ル往時ノ
二十倍ナリ全合衆國ヲ以テ計ルトキハ三倍並
餘ニ出ツルナリ
故ニ資本ト成レル公債及ヒ通幣ノ景況全ク變

改シテ示タ曰時ノ跡ヲ見ズ蓋シ前十年ノ世
適當セル者ハ今日ニ適當スベキ者ニ非ズ請フ
方今ノ人善ク時世ヲ誤リ認ルナカレ
ニウヨルク州ノ法令ニ合衆國及ヒニウヨルク
州ノ六分公債証書ヲ収メ置カシメ其証書ノ公
價表記セル價ヒニシテ市場ノ價ヒニ非ス大ケノ銀行紙幣ヲ發行
スベキヲ許セリ此法實ニ手形所持主ノ為
ニ大丈夫ナル組立方ニテ當分バンクヲイニ
クラント及ヒ我銀行條例モ大ニ其餘慶ヲ得タ
ルモノナリ

然レ此此法令ニ於テ銀行紙幣ノ限リナキ發行
ヲ可トスル所ナシ其趣キニ曰ク允テ會社ヨリ
發行セル銀行紙幣ハ其本店若クハ其組合連中
ニ於テ割引ヲ以テ引換イタスベシ然レ此其實
附ニ付テ之ヲ見ルニ銀行紙幣ノ多クハ其組合
連中ニ於テ引換ラレ其本店ニ來ルモノ極テ稀
ナリ而シテ彼法ニ最モ望ム處ハ引換ノナリ
引換ナルハ何レノ會社ニ於テモ商業必需ノ
度外ニ通幣ヲ發行スルヲナキニ至ラント謂ク
リ是レ貨幣ト紙幣トノ引換ナレハナリ貨幣ハ

紙幣ヨリ價ト大ナリト云フ堅固ノ基ヲ擁セリ
其事ニ付キ各所異同ノ患トナカラシメンガ為
ニ其割引ノ度ハ一分ノ四分一ト定メ置ケリ若
シ今公法ニ金ハ銀ヲ以テ割引ナク引換銀ハ銅
ヲ以テ割引ケナク引換スヘシトナルモ其法徒
ニ爲有ニ歸セシ何者金ハ銀ヨリ其實價アリ銀
ハ銅ヨリモ實價アリ價ヲ同フシテ其質ヲ比
レノ便ナシ是事ヨリニウヨルクニ於テハ引換
ラレベキ通幣シテ引換ベキ貨幣ヨリモ其價ヲ
下ラシム此ニ其大主意ナリ故ニ其價一分ノ四

分一ヲ減スルヲ以テ之カ定度ト爲シタリサレ
ハ今四千万トルヲ發行スルキハ尙既ニ十萬
トルノ價トヲ減セリ若シ一年間ニ三度ト是ヲ
引換フルトキハ一方ヲ損失スルモノ三十萬
ル一方ニ利ヲ射ルモ三十萬ドルニ至ラン而シ
テ其利ハ則チ銀行紙幣ヲ發行セル銀行ト之ヲ
引換ユル兩替師ノ共々配取スル所ニシテ其損
ハ即チ村商製作工及ヒ間屋共ノ蒙ル處ナリヤ
レハ其實效ニ至リテハ兼テ望ミ置ケルカ如ク
一々貨幣ト引換エシカ為ニ本店ニ來ラスシテ

交換所ニ於テ他ノ銀行紙幣ト引換ヘシカ為ニ
 通用セリ其間ニ五ヲ為換方兩替師ノ利ヲ得ル
 之計ヘカラス其利ノ最モ大ナル者ハ一分下四
 分一ノ割合ニ至ルト云フ
 千八百六十年前十年間ニウヨルクハ州縣銀行
 ニ於テ所持セシ貨幣ノ平均高一千七百五十六
 万五千零六トルニ至ルト云フ

- 一千八百五十一年
- 八百九十七萬八千九百十八ドル
- 一千八百五十二年

- 一千三百三十萬零四千三百五十六弗
- 一千八百五十三年
- 一千三百三十八萬四千四百十ドル
- 一千八百五十四年
- 一千零七十九萬二千四百二十九弗
- 一千八百五十五年
- 一千五百九十二萬千四百六十七ドル
- 一千八百五十六年
- 一千八百五十一萬零八百三十五ドル
- 一千八百五十七年

一千四百三十七万〇四百三十四ドル
 一千八百五十八年
 三千三百五十九万七千二百一十一ドル
 一千八百五十九年
 二千二百二十万七千七百八十二ドル
 一千八百六十年
 二千四百五十八万二千二百十九ドル
 此高ノ八分一則チ大約二百二十万ドルハ村落
 銀行ノ倉中ニ嫁シ其残り高則チ千五百萬ドル
 ハニウヨルクノ市ニ入ルナリ今此高ヨリ銀

行ノ裁水及ヒ預リ金ノ高ヲ減シ其殘金ヲ調フ
 ルニ十年間ニ其準備金ニ五倍セル通用幣ヲ登
 行セシナリ知ルベシ
 方今登行ヲ許サレタル國立銀行紙幣ノ高ハ三
 億五千四百万トルニシテ而シテ紙幣ハ則チ三
 億五千六百万ドルニ及ブ蓋シ銀行紙幣ヲ引換
 フルニ便ナランガ為ニ紙幣ヲシテ殆ント同様
 ノ高ニ至ラシメシナリ故ニ今通幣條例ニ定
 メ置カル、如ク平價ヲ以テ引換エルナリニ
 ウヨルク州法ノ如ク四分一ノ割引ヲ以テ之ヲ

引換フルトキハ引換ノ速カナル論辨ヲ待タス
シテ知ルヘシ然レ此一年ニ一度此大量ナル
銀行紙幣ヲ引換フルキハ合衆國ノ人民損失ヲ
蒙ルルヲ九十万ドルナリ四度引換エルキハ其
損三百六十万ドルニ至リ六度引換エルキハ其
損五百四十万ドルニ至ル如此キ引換ノ法ヲ行
フニ於テハ貿易ノ度ヲ登貴シ人民ヲシテ損失
数百万ニ至ラシメシ然レ此法ヲ用エルキハ
通幣ノ要需殊ニ鉅キトキハ村落銀行ノ倉中ニ
流入シ其烈シキトキハ倉外ニ出テ通幣ヲシテ

彈カアラシマル實ニ此法ニ在リ
南部及ヒ西部ニ社ヲ結ベル國立銀行ノ利分ハ
往時州縣銀行ノ上ニ出ツルヲ約一分ナリ百分
而シテ交換都府ノ銀行ニ下ルヲ一分ノ二分十
ニ過キタリ事實如此ナルキハ銀行紙幣ヲ發行
スルニ付テ左程利益モナキヨリ此通幣ヲ望ム
者至テ少シ是ヲ發行スヘシト公告スト虽モ之
ヲ請ヒ出デシ者ナカルベシ然レ此公債証券ノ
價ヒ下落シテ貨幣ノ價ヒ及ヒ銀行紙幣ノ價ヒ
相迫クトキハ其利分大ニ益シ皆テ享フテ銀行

紙幣ヲ發行セシテ望マン然レ氏此時銀行紙
幣ヲ發行スルトキハ通幣ノ總高ヲ増加スル
ユヘ其價ヒテ再ヒ下ラシムルナリ而シテ貨
幣ヲ以テ賣買スルノ念モ示タナキニ至ラン
當今ノ世國立銀行紙幣ヲ差シ支ヘナリ引換ヘ
シメントナラハ其發行高ヲ増シ割引ノ度トシ
テ一分ノ八分一程ニ下ラシムヘシ其増加スル
キ高ハ一億ドル餘ニ出スンハ其割引ヲシテ一
分ノ八分一ト為ス能ハザルナリ更ニ一億ノ増
加ヲ為ストキハ交換ノ度ヲシテ登貴セシメ其

害知ルベカラス故ニ其法ハ決シテ用ユヘカ
ス寧口紙幣ヲ減却シ從ヒテ銀行紙幣ヲ増加シ
通幣ノ總高ヲ増サスシテ同様ナル實效ヲ收ム
ルニ如カザルナリ是レ僕カ謹テ勸促スル所ナ
リ然レ氏議吏院ノ有司實ニ紙幣ヲ減却スルヲ
好マス良法ヲ裁許スル所ナシ僕ヲ以テ之ヲ見
ルニ引換ノ法ヲ用ヒフリーバンキングヲ為ス
ハ貨幣通行ノ再ヒ起ルニ非ザルヨリハ復行フ
能ハサルナリ
僕此事柄ニ付テ愚衷ノ貫徹セサランコトヲ恐ル

然レ此以為ラリ引換カタキ通幣ノ長ク行ハ
ニハ國害ノ未タ除カザルナリト故ニ深ク思ヒ
詳ニ察スルニ割引ノ法ヲ以テ引換ヲ速カニス
ルニ如クナシ然レ此引換ヲ為スニ就テ交換
ノ度ヲ登貴スルニ至レハ實ニ害ヲ醸スモノナ
リ却テ銀行ヲ衰微セシムルノ媒トナラン故ニ
紙幣ヲ減シ銀行紙幣ヲ增其平均ヲ調フルハ是
レ巴ムヲ得ザル所ナリ僕記ス往時銀行紙幣ニ
ウヨルクノ都會ニ於テ割引ヲ為スニナシ先年
不景氣ノ時ニ當テ其差別更ニナク皆ナ是ノ商

藏シテ信スヘキモノト見做セリ是レ銀行紙幣
ノ安全ナルが為ナリ又々兵革以前ノ如ク貨幣
引換ニ支欠クナカラシムベキナリ
右論スル所議院ノ裁用ヲ得テ是ヲ實際ニ施行
スルニ至ラハ宜シク其三分ニハニウヨルク州
ニ於テ引換工其餘ハ他ノ支店ニ於テ抵換工セ
シムベシ是レ其平均ヲ得ルノ策ナリ如此ニ至
レハ引換ノ費用大ニ其餘冗ヲ省キ交換ノ割合
登貴スル所ナク通幣ヲシテ其地ヲ保タシムル
ヲ得ベキナリ

準備金

準備金の字ハ不殘別段積金ト限訂ノ事

僕謹ラ案スルニフリトバンキングヲ主張スル
 ノ人ハ通幣條例ノ尤モ限制セル所及ビ負金ノ
 為メニ斂メ置クベキ準備金ノ法ヲ廢棄セン
 ヲ望メル人ナルカ今マ彼等ノ説ク所ヲ聞クニ
 曰ク銀行ノ頭取り及ビ取締役ハ貸スベキ金高
 ト備エベキ金高ヲ景モ巧者ニ辨知セル人ナリ
 立法司法ノ諸官眞イカ程尽カスト雖モ之ニ
 及ハサルベシサレハ政府ハ切手ヲ所持セル人
 ラシテ損失ナカラシムルハ勿論ノ事ナレ氏附

托主及ヒ其他ノ貸シ方ヲシテ自己ヲ保護セ
ムルモ不安心ナルヲアルベカラス然ルニ今如
此キ法ヲ立ツル者ハ諸銀行ヲシテ正經ノ利益
ヲ得ルノ手段ナカラシムルナリ蓋シ金銀ノ融
通ヲ限制スルハ法ノ正シキ者ニ非サルナリ之
レ或ヒハ然ルアラシ然リト雖既ニ此ヲ法ト
稱ス必ス限制ナキ銀ハス蓋シ此法ノ旨タル未
熟ナル商人ノ姦商ニ欺カレ或ヒハ破産ニ至ラ
ンコトヲ防クモノナリ熟知セル商人ト雖是ニ據
テ事ヲナス豈ニ利ヲ失ルコトアリヤ臣テ知

ル法ノ正シキト稱スヘキハ未熟者ノ為ニ害ヲ
防キ而シテ熟知者ヲシテ營業ニ差支ナカラシ
ムル者ナリ
蓋シ法トハ衆人ノ為ニ害ヲ醸スモノニ非ス如
何ナル社中ニテモ通幣定例ノ法ニ從ヒテ銀行
ヲ取り結グベカラサルノ理ナシ假令ハ一都
人アリ已レ便利ナリト思ヘル法方ニ從ヒ銀行
商業ヲ營マント欲セハ必ス條例ノ法方ニ習ヒ
テ更テ執ルヲ以テ最モ良策トセン然レハ條例
ノ規則ヲ奉シ議定院ノ許可ヲ得テ社ヲ結ブ

何ソ異ナランヤ只私営銀行ニ於テハ自己ノ資
望ヲ以テ商業ヲ営ムヲナレハ其手許ノ金銀ハ
自己ノ用心ヲ以テ取扱フベキトニテ之ニ附托
スル得意家モ亦々其營業ノ畧量ト才識ニ於テ
深ク信スル所アルナリ而シテ衆民ノ法令ヲ奉
シ社ヲ結ベル中間ニ於テハ免許ノ任ニ堪ヘ之
ヲ負カサルトテ戒慎スヘシ此レ其相ヒ均シカ
ラサル所ニシテ其營業ノ理ニ至リテ共ニ異ナ
ルモノアラサルベシ
去ル一兩年ノ間大會社ニ法ノ愛顧ヲ以テ造營

セラレ全ク限制スル所ナシ右ノ支ニ付キ法官
固ク信シテ曰ク國法ヲ以テ愛養セル會社ハ必
ス國益ヲ成サシ然レ比其會社漸ク富大ニ至ル
ニ及ンテ常ニ株主ノ權ヲ拒ミ人民ノ幸福需用
ヲ顧ニス其店前ノ伴頭取締役ヲ養成スルトテ
是レ務メント欲ス故ニ其法タル過失多ク將ニ
我國人ヲシテ數人ノ抑排ヲ受ケシメントス蓋
シ人制セサレバ必ス惰心ヲ生ス故ニ其惰心ヲ
約シ其災孽ヲ制スルハ安全ノ策ナリ諺ニ云ハ
スヤ始メ適宜ノ限制ヲ置カバ如此キ大害ハ起

ルマシト夫レ今日ノ言カ
 元テ株式会社中ノ諸役人其名譽ヲ得タル後々ハ
 已レ株主ノ催人タルヲ忘レ其事務ニ関シテ
 ハ最モ下等ノ株主ト虽氏皆ナ報知ヲ受テセキ
 権アルトテ顧ミサルニ至ルナリ聞クバンクヲ
 フアムステルタムノ將ニ破レントスルヤ前五
 十年ヨリ既ニ其借ヲ濟ス能ハス然レ氏其名称
 ノ盛ナルヲ以テ斯ク引續ヲ得タリ今日富大ナ
 ルカ如キ商社若クハ商人ト虽氏其内實ヲ探リ
 見ルニ其破産ノ淵ニ臨ムル者少キニ非ス故ニ

今マ政府銀行ヲシテ其社ヲ結ハシメ人民ノ畜
 積ヲ預カラシムルトキハ其危急ヲ傍觀スル能
 ハサルベシ乃チ二倍ノ抵当品ヲ請ケ得スンハ
 之ヲ貸與スルトナカラシメテ可ナリ之ヲ政府
 ニ請ハス唯々商法支務ニ関スル者土地家産ヲ
 抵当スルトナク唯々証唇手形等ニ関シテ營業
 セシムベシ然レ氏附托者ハ必ス公法ニ許可セ
 ラル、権ヲ有スルトナリ且今公法ニ於テ通幣
 ノ抵当ヲ定メ加之附托品ノ抵当ヲ定メ置カハ
 附托人及ヒ手形所持人ノ為ニ其約束ヲ正サ

ルベクヤンヤ柳々人民ノ積金ヲ預カレ即チ義務
ナカルベカラス正ニ公法ノ約束ヲ奉スル是レ
其義務ナリ株式相庭ヲ玩弄シ市街ノ引換ヲ勤
揺スルト豈其任タラシヤ故ニ公法其一部ヲ許
シテ其費用ニ供セシムルト虽他ノ一部ヲ以
テ附托人不时ノ求メニ備ヒシムルハ實ニ正
ノ事ナリ孰レカ敢而不正ノ法ト云ハン只其景
モ成シ難キ所以ノ者ハ其手許ニ備ヒ置クベキ
金高ヲ定ムルトナリ不注意ナル銀行役人ニ至
テハ或ヒハ之ヲ備フルトテク全ク貸シ渡セリ

是レ正道ノ商業ヲ務メテ附托人ノ不便ヲ顧ミ
サルニ非スヤ却テ不利ヲ醸スヲ知サルナリ又
タ細心ナル為換方取締役人ハ附托人ノ積金
ヲ巧ニニ用ヒ捌キ善ク其至急ヲ窺ヒ知テ不時
ノ需メニ供スルトナリサレハ公法ノ正ニ定メ
置クベキハ銀行ノ元テノ財本其家財ヲモ預ケ
人ノ為ニ仕拂ハシムベシ蓋シ株主タル者ハ全
負ヲ償却シ其殘レル金高ヲノミ自由スベキ權
ナルトナリ故ニ政府若シ預ケ人ノ保護ヲ為シ
之ヲシテ損害ヲ受ケサラシメント欲セハ須テ

ク銀行ノ限制ヲシテ此度ニ至ラシヤベシ又々
時々刺々其法ヲ守レルヤ否ヲ見正サシカ為ニ
手段ヲ回ラサ、ルベカラズ蓋シ株主ノ資本ノ
高ハ少ニシテ預ケ人ノ資本ノ高ハ数倍セリ昔
ナリ故ニ不景氣ノ時ニ當テ預ケ人ノ危急ハ株
主ニ倍スルモ亦大ナラサルニ得ハ請フ其一
例ヲ上げシロンドンエントウストニスドル
バンクヲフイングランドノ株主ニ屬セル資本
則餘分資金ハ千五百萬ドルニシテ預ケ人ノ附
托セル資金ノ平分高ハ一億二千萬ドルニ出ズ

ニウヨルク府銀行ハ三座ニ於テ株主ニ屬セル
資本及ヒ餘分資金ハ一千萬ドルニシテ預ケ人
ノ附托セル物ハ五千萬ドルニ及ハントス當察
ニ報告セル畜金銀行ノ昨年ノ書キ上ヲ見ルニ
株主ニ屬セル資本ハ只々二萬五千ドルニシテ
預人ノ附托セル高ハ一百万ドルナリ此ヲ以テ
之ヲ考フルニ英國ニ於テハ預ケ人ノ附托高ハ
株主ニ八倍シニウヨルク銀行三座ニ於テハ之
ニ五倍シ畜金銀行ニ於テハ之ニ四十倍セリ如
此ク大ナル貸金ヲ預レル會社ヲ枚置シテ更

限制スルヲナキハ僕其可否如何ヲ知ラサル
リ且ツ英吉利蘇格蘭及ヒ歐洲他國ノ銀行會社
ハ長ク此職ヲ熟煉セル人民ノ取扱所ナリ故ニ
子々孫々長ク此職ニ巧者ニシテ信ヲ失スル下
寡ク新ニ社ヲ結ビ此職ニ疎キ者ハ免角幸福ヲ
失スルヨリ之ヲ望メル者モ實ニ少シ然ルニ故
合衆國ニ於テハ條例ノ趣キニ因テ何人モ
銀行取結フヲ得タルヨリ此商業ニ就テ些微
モ熟煉ナキ者トモ或ヒハ當察ニ來リテ結社セ
ンコトヲ願ヘリ蓋シ條例ニ因テ支那為リハ尋常

ノ所業ヲ以テ得難キ信用資望ヲモ得易シト思
ヘルナランカ嗚呼之ヲ救置シテ可ナランカ
今マ論スル者ノ曰ク準備金ノ莫ニ就テ限制ス
ル所アルハ蓋シ無用ノ莫ナルカ夫レ通幣ハ
紙幣ヲ全ク限制ナキモ必ス安全ナル者ナリ
フ見ヨ通幣ノ抵当ハ獨リ政府ニ收在セル公債
証券ニ関スル者ニ非ス銀行ノ諸資本株主ノ約
束政府ノ請合ニモ基スル者ナレハ如何ナル莫
件ノ出テ來ランモ之ヲ仕拂ハサルノ患ヒナカ
ルベシ銀行紙幣ノ仕拂フベキ亦タ慥カナラ

ヤ此説亦タ可ナリト称スベシ唯タ僕故ニ議ハ
 ル所ハ銀行紙幣ノ一ニ非ス全負金ノ為ニ幾何
 金高ヲ備ハ置キ能ク其急需ヲ贖アベキヤノ
 論ナリ若シ負金ノ割合其資本ニ應スル者ナレ
 ハ準備金ノ割合亦タ其資本ニ從ヒテ確定スハ
 シ然レ氏負金ノ割合常ニ変化シテ一様ナル能
 ハス是レ諸君ノ知ル所ナリ故ニ幾何ノ分割ヲ
 備エ置テ資本預リ品又タ通幣ノ為ニ可ナルヤ
 トメ論セバ僕関セサルナリ唯タ全負金ノ為ニ
 幾何ノ準備ヲ為シテ差支ヲ生ス間敷ノ論僕

ノ求ムル所然レ氏此変ヤ吾等ノ実験ニ非カレ
 ハ見ルベカラザルカ

近世ノ一学士銀行ノ商業ヲ論シテ曰ク負金ト
 準備金ノ分割ヲ取調ント欲スル通幣條例ハ法
 ノ正シキ者ニ非ズ以テ銀行準備金ノ定度ト若
 スニ足ラサルナリ蓋シ其割合時トシテハ多キ
 ニ過キ時ニシテ少キニ過グ實ニ符合スル能ハ
 ヤル者ナリ若シ符合スルニ至レハ則チ商業ヲ
 シテ恐慌セシヤルノ度ナリ彼レ又タ米國法体
 ノ大主意大眼ハル者ハ則チ誤リナリト云

リ而シテ其終キ 至リテハシクヲイング
ントノ準備金ハ一千百萬ドル乃至一千百五十
萬ドルニ下ベカラス若シ其準備金一千五百
萬ドル程ニ至ラハ宜シク正ニ戒心スヘキナリ
三四百萬ドルノ金高ハ他ヨリ利分ノ金子來ラ
サル前ニ他ニ流出スルトナリ當今ノ世若英國
ノ銀行ニ於テ其準備ヲ一十萬ドルニ以下ニ下
ラシムルトキハ通宝世界ハ乃塗炭ニ陥ラシメ
ミト今其備ヒ置クベシトノ高ヲ調ブルニバン
クヲフイングランドノ平金銀ノ三分一ニ均

シサーハ我通幣條例ニ定メタル高ニ増スル
八分餘リナリ
此卓越セル經濟學士茲ニハシクヲフイングラ
ントノ準備金ハ一千百萬ドルニ下ルベクニス
ト云ヒ此度ヲ下ルトキハ世界必ス塗炭ノ苦ヲ
受クベシト云ヒ而シテ我通幣條例ニ定メ置ケ
ル準備金ノ度ハ時トシテハ多キニ過キ時ハ三
テ少キニ過キ蓋シ之ヲ定メルハ誤ナリ云フ
ハ果シテ何言ソヤ僕始メ準備金ノ度ヲ定ムル
ハ誤法ナリト謝シ其真理如何ヲ求メテ半途ニ

シテ其方向ヲ失ヒタリ無益ニバンクヲフラス
グラントノ法方ヲ探リテ終ニ其度ヲ定ムヘキ
コトヲ知リ
準備金ハ變化セル負金ノ高ニ自ラ關係セシ者
ナリト云フ論花ノ準備金ハ全ク負金ノ高ニ關
セズ常ニ一定ノ金額タルヘシトノ論此兩論共
ニ正理ニ合セザル者ナリ而シテ我國及、歐洲
ノ安全ナル銀行ノ實際ニ及セル所アレバ以テ
佳法ト稱スヘカラザルナリ
第五表ハ倫敦ノ經濟學士ノ表中ヨリ纂輯スル

バンクヲフインングラントノ附托品及、準備金
ヲ示ス
然レババンクヲフインングラントニ於テハ右ノ
如キ多量ノ準備金ヲ常ニ斂メ置カザルヤカラ
サル者アリ何者銀行ニ於テハ獨リ我カ營業
ニ關シテ準備セシ者ニ非ス全英國ノ合株銀行
來テ之ニ附托スル者其資本ニ三倍セリ
不景氣ノ時於テハ此等ノ會社ノ為ニ金子ヲ
償済センカ為ニ魚テ要心イタスズキハ素ヨリ
職トシテ務ムベキ所ナリ而シテ英國ノ諸合

銀行ハ金ヲ準備金ナシト云フニ非同シ
 學士ノ公告ナルハ八百六十七年ハ倫敦
 ウエストミンスターバンクノ統計表ニ曰ク此
 時ロンドンエントウエストミンスター
 ニ於テ資本二百萬トルアリ餘分資金一百萬ド
 ルアリ而シテ千三百八十八萬九千零二十一
 附托品アリ二百二十二萬六千四百四十一
 ドルノ手元正金アリ三百五十七萬二千七百九
 十七ドルノ政府請合証各公債証各ノ額アリ此
 銀行ハ英國ニ於テハンクヲソイニシテ
 三ハ

次キ立ツヘキ大會社ニシテ最モ大ナル合衆
 銀行アリ于時正金ヲ以テ負金ハ六分ノ準備シ
 受ニ其二割五分ヲ應需貸法ト為シテ不測ニ備
 其合株銀行ハ更ニ多量ナル準備金ヲ設
 ム其詳カナルハ左第六ノ表ヲ以テ見ルベシ
 千八百七十三年六月三日ロンドンノ
 銀行準備金ノ表

手許正金及ヒバンクヲ
 シトニ預ケタル金高
 公債証書及ヒ租稅密証各

ハ 公債証各ノ三分ノ利ニシテ其價ト
九十二減シタル者

ニ 銀行ノ正金一百十七萬三千

五ポントバンクオフイング

ニ預リタル九十七萬一千二百九

ニポント望ニ次第ニ取戻シ得ベキ

貸金二百九十九萬千八百五ポ

ント

ホ 公債証書租税寮証各請取証文

ハバンクヲスイングラントニ預ケ置

キ望ニ次第ニ取戻シ得ベキ金高

ト 租税寮証書東印度請取証文及公

債証書

チ 公債証各印度請取証文及都會借

用証文

リ 資本ニ元ト入レセル公債証書

又 三令公債証書及他ノ政府

ル 手許正金及ニ必需貸金

ヲ 本店支店及ニバンクヲフイン

ントノ手許正金及ニ儲カナル持

政府証文諸款

英國政府ノ原金ハ公債証書ナリ世界ノ諸都會

最モ引換ヘ易キ者ナリ且ツ其公債証書ハ常

恰好ノ割引ヲ以テ買受ケベク則チ九十二ナリ

其損失他ノ証文ニハ最モ少キ者ナリ是

ヲ以テ英國ノ合株銀行ニ於テ準備金ヲ斂メ且

之ヲ資金ノ中ニ加フルヲ得ナリ

フイディングラントニ附托シテ是ヨリ利ヲ生シ得

ルナリ故ニバンクヲフイディングラントハ常ニ平

均負金ノ約三分一ノ準備金ヲ有テリ合株銀行

一於テハ正金及ヒ政府ノ証文ヲ以テ更ニ多分

ナル志需準備金ヲ斂メ置ケリ故ニ合株銀行

於テ備ヒ置ケル公債証書ヲ正金ニ引換ユルト

キハバンクヲフイディングラントノ準備金ノ高

減省スルノ恐ニアルベシトノ疑問ハ答

ニモ及バザルナリ抑々倫敦ノ通商ナリハ

カニ利分ノ割合ヲ上クルノ此策ヲ用ヒテ

ノ金銀ヲ吸入スル勢アル場所ナリ

我カ通幣條例ニ曰ク村落銀行ニ於テハ其負金
 ノ六分交換都府ニ於テハ其一割二分
 ク府ニ於テハ其二割五分ヲ以テノ以保金ト
 収メ置カシムベシ而シテ村落銀行ニ於
 備金ノ殘高ハ交換都府ニ預ケ交換都府ニ於
 ハニウヨルク府ニ預ケ置クベキヲ命セリ是
 ニ於テ交換都府若ニニウヨルク府ノ銀行ニ
 レル金銀ハ皆ナ応需貸シ法ヲ以テ之ヲ割リ
 割テ何者ニ我邦ニ於テハ英國合株銀
 ク準備金ヲ附托スベキヨキ預ケ所ナリヨキ

換ハ場ナケレハナリサレハ若シ村落銀行ノ餘
 分ノ準備金ヲ以テ都會ノ組合ニ預ケ置
 以第正金ニ引換ユベキ者ヲ以テセハ過日ノ不
 景氣ノ如キ支件ハ起ルマシク思ナリ
 其不景氣ハ實ニ村落銀行ヨリ都會ニ預ケタル
 金ヲ全ク受ケ戻サント企テタルヨリ起レ
 ナリ其故ハ第一九月ノ預ニ於テハ都會銀
 預ケタル金高實ニ商業事務ニ於テハ
 第二村落銀行ニ於テハ先年ノ經驗モアリ
 一再ヒ災害ノ起ラントテ恐レ速ニ受ケ戻スヲ

以テ安全ノ策ト思ヘリ村落銀行ニテ斯ク思ヒ
込シタルヨリ頻リニ手形ヲ振リ出シタルハ二
ウヨルク海銀行ノ準備金一時ニ減却セリ此時
ニ至リテ急需貸金ヲ取り戻スノ他ニ一策
ス能ハス其高者今六十萬トル餘ニ及ベリ然
トモ此ヲ借リタル商人ノ或ヒハ仕拂ヒ得タル
ニ皆ナ他ノ銀行ニ為換手形ヲ振出シ之ヲ以
仕拂ヒタリ其明朝ニ至リ彼ノ銀行交換所ニ至
ルニ或方ニ向ケ來ル仕拂手形ヲ為ラ見付
一驚ヲ喫スルノミ以為ラク今日是ヨ仕拂フト

キハ負金ヲ減スト雖モ之ヲ前日ニ枚スルニ一
体ノニニテ大ニ我富ヲ省ケトハニ能ハ大ニ遷
延セシテ務メタリ今好シ村落銀行ノ餘分本
金ヲシテ政府借用証文ナラシメバ都會銀行
振出ス所ノ手形大ニ減省スベシ又々都會銀行
餘分本金ヲ同ニ請取証書ニ於テ敘メ置
カシメハ斯ル不都合ノ起ルマジ若シ急需
ハ之ヲ出納窓ヨリ取り戻サンノミカスレハ得
意家ノ需メニ応スベキ用意金常ニ存セリ是レ
僕敢テ勸ムル所ナリ

右ノ如キ証文ヲ發行スルトキハ紙幣ヲ引取ス
ニ便利ナリ只々恐ラクハ之ヲ取戻スノ後チニ
ウヨルリ、出納役人等量紙幣ヲ得テ不仁ニ目
途ニ供セシテ然レ氏其金高ヲ定メ置キ犯罪
人ノ罪ヲ責ムルノ法ヲ布カハ是ノ害ヲ避クル
モ亦タ難キニ非ス

村落諸銀行ヲ為メ政府請取証書ヲ發行ニ是
以テ準備金ト為スベキトニ付キ先年僕ノ年報
一勸ヲ奉リシ文言尤ノ如シ
ニウヨルリ府存ニ占居スル國立銀行其數

千九百座皆ナ其準備金ノ多少ヲ以テ此府
内ニ斂メ置ケリ往年ノ間其資本金ノ殆
ント五分一ニ均シキ金高ヲ以テ此府ノ國
立銀行ニ附托セリ然レ氏諸銀行ヨリハ
附托スルヲ以テ其高或ヒハニウヨルリ銀
行ノ資本ニ五倍スルニ至リ或ヒハ之ニ三
四倍スル下アリ只々利分ノ生スルヲ以テ
斯ク此地ニ集マルナリ故ニ通貨極ニ緊用
ナル時ニ於テニウヨルリ府銀行ノ破産ス
ルトキハ交換都府ノ銀行大ニ不都合ヲ生

シ村々銀行彼ヲ其害ニ受ク是レニウヨル
ク府ノ銀行注意ナキヨリ此ニ至レルヲナ
レハ常ニ其咎ニ任スベキトナリ
極テ通貨不融通ノ時ニハ手形証紙存
ヲ以テ商人ニ貸シ渡スヲナシ心ス慥カナ
ル物品ヲ抵当ニ取リテ暫時ノ期限ヲ以テ
貸シ渡スベキトナリ故ニ応需貸シ法格
ニ増加シ正經ノ商業ヲ當マズシテ不慥カ
ナル株金相庭ヲ養成スルノ弊ヲ醸
ニウヨルヲ府諸銀行ニ累テ負益ノ高變遷

フルト日一日ヨリモ甚シ而シテ
準備アラサルヘカラスニ
諸銀行ニ於テ事務繁多ナラヌ時ニハ此府
ニ來リテ其餘分ヲ付托シ因テ其利ヲ得
盛ノ時ヲ待ツニウヨルヲ存ニ於テモ如
キ期限ニハ別ニ出金スベキ道ナケレハ損
失ノ怨ヲ抱ケリ是ニ於テ相度師通法ヲ易
キヲ熟視シ依然トシテ大ニ籌策ヲ考ヘ疑
ハシキ抵当ヲ以テ本金ヲ貸入ニ至レリ故
ニ交換所ノ引換大ニ益シ往年ノ如キハ其

高三百二十億ニ過キ... 是ラ五分スルニ
一日ニ付キ一億程ナリト云フ其内過半ハ
正隆ノ商業ニ因テ然ルモ、非ス其金高
遙ニ倫敦府ノ交換所ニ勝レリ蓋シ此等ハ
附托ニ利ヲ拂フノ幣習ニ出ツルナリ然レ
氏此幣習ヲ改メルハ實ニ其分ノ能スル所
ニ非ス今若シ此附托ヲシテ利ヲ卑フセ
メハ多分ハ倉中ニ溜マリテ流出スルナ
ク商共ノ盛ナルニ至リテ母ニ利益ヲ生セ
ン然レニ一般ノ習俗ニ於テ已ニ...

金同ハ之ヲ都會ノ組合連中ニ送
全ナル者ト為スノミ少クモ利ヲ抱ケル
政府借用証各ヲ發行シ之ヲ準備金ト成ス
ベキヲ命シ更ニ村落銀行ノ手許有高
増サシメハ右ノ如キ習幣ハ全ク散除スル
シ之レ通幣ヲ高ク増スニ非ス政府ニ
行セシメケル高ハ必ス政府ニ來ルベシ
テ其政府ニ來ル所ノ通幣ヲ固ク斂メテ出
スヨナリハ政府ノ失フ所ハ唯々利ヲ拂
ノミ然レモ此少量ナリ其邦租税ハ多ク廢

止セラルルニ至リテ
 止ルニ至ルハ僅ニ割付ヲ為
 ノ數ナリ斯ク租税ヲ減スレハ是ガ為ニ進
 幣ノ弾カヲ生シ且ツ附托者ノ所持金七億
 トルノ準備ヲ安全ニシ正經ノ商業ニ好
 ヲラ用ヒシムルニ至ルハ政府タルニ好
 シテ施行スベキ所ナリ然ラサレハ株式相
 度印ヲシテ邦ノ物價ヲ握ラシメ陟降定度
 ナキニ至ラシテ悔ユヘカラズルナリ
 此ノ文所記用証書ニ行ニ就テ債再

借用証書ハ職人傭夫ノ利得ヲ貯蓄セシメ
 為ニ至テ便利ナル者ナレハ大ニ此ヲ發行ス
 シ此ノ証書ヲ發行スルニ五十トルニ及ブ
 キハ即チ其便利ナル以所ヲ知ルニ至ラシ且ツ
 此ヲ以テ六分公債證書ヲ償却セハ大利ヲ得ハ
 ヤルノ手段ヲ得ヘキナリ
 当年一月一以米國立銀行ヨリ無周文推
 差出テ所ノ言上ニ示スルニ前記ニ示ス
 ノ準備金ニ趣
 此ノ文所記用証書ニ行ニ就テ債再

中旧来當世

實直ニ奉

ニ於テハ免

新

所ノ銀

ニ於テハ免

通幣條例ノ未タ公布セサルヤニウヨル

中間連中相寄テ準備金ヲ屬メ置

社談セリ千八百五十八年三月ニウヨル

十ニ銀行交換所ニ集會セシニ其中四十

店ノ目代人見立ニ從ヒ定約シテ曰ク凡

テ銀 呂等

下ラサ

常ニ号

乙モ銀行幣及ニ交換所ヨリ受テ取

キ本高ハ右二割ノ算中ニ非スト此定約ハ

幣條例ノ前五十年ニ行ハレタル者ニシテ別

一金ヲ望ハ通幣條例ト更ニ相ヒ異ナルナ

シ此定約ニハ銀行幣ノ準備金ヲ云ハス

此時平價以テ金貨ト引換ユルヲ得タル

此時ヨリ幣條例ノ公布スルニ至ルマ

弛緩セ 非ニ故ニ條例ノ行ハ

テヨリニ

棄スルヲ好

或ニ通幣條例ニ國之銀行ハ必ス常ニ

別段積立金ヲ欲メ置クベキコトヲ棄セタリシ

別段積立金ヲ廢棄セント欲スル者ハ之ヲ

ス其論ニ曰此制法ハ實ニ國立銀行ヲシテ別段

金丈ケノ金高ヲ費用スル能ハサラシムルナ

付托者ヲ主護シ何時ニテモ其望ニ次第償

却セシ

別段積立

配分

今ニハル字議ハ兵書ニ所謂ル遊軍別段積

洋辭ト云フガ如シ其進ムベキト其退クベキ

將軍ノ任ニアリ敢テ君王ノ擅スベキ者ニ

非スト魚モ將軍亦之ヲ全ク廢スル能ハ

ナリ銀行別段積立金モ亦タ如此シ銀行ハ

第其銀紙幣ヲ引換コル能ハ人望ミ

手形ヲ仕拂ハ之ヲ引換ハ之ヲ仕拂

トキハ裁准日ヲ損フ

却テハ債権ヲ破

産セシムル 均シク 此ノ如ク 非サル

ノ條例ノ公布セラレ今日ニ至ルマテ准

金 為スノ同意ハ差シ支ヘテ以テ金ヲ弗

策ナリ故ニ恐慌ノ時ニ於テハ銀行ノ貸シ主

ソ其主タルベシ頭取々締後ノ輩毫モ之ニ權

ルトシカルベシ然レ此時準備金ノ定則ナキ

ハ其借債ヲ拂フナク必ス不慥カナル引当

ニ手形証券ヲ以テ貸シ渡スベシト云ワハ亦

甚シキ懸念ナリ

方今 赤紙

望ム

注

タニウシ 速カテ

言ヘルトヲ思ヒ 村落銀行ニ於テ借用証文ヲ以

テ準備シメシトテ請フノミ

僕 茲ニ請ヒ奉ルカ 如ク其借用証文ヲ御裁用ア

ラハ交換都府及ヒ州縣地方ニ結社セル銀行ノ

準備金ノ高大ニ減少スルヲ得ベシ而シテ

元引換高ハ大ニ之ヲ益サハルベカラス而シ

ニノヨルク所ノ銀行ハ二割五分下手証ニ

シムハシ其半高ハ借用証書ニテモ可ナリ

此高ハ交換所ヨリノ額ハ 依リ大蔵卿ト

評議ノ上ハ紙幣頭ノ命ニ從ヒ減出スルヲ得ベ
キナリ

附表ニ掲クハ所ハ當憲工報知セシ書キニ

前五年間我國立銀行ノ所持セル準備ノ割ハ
ナリ今此ノ表ニ據ルニ都會ノ銀行多クハ條列
ノ餘ニ準備セルヲ知ベシ

大藏經

